



YouTube

磐田市公式チャンネル「磐田TV」



まちの話題

12月10日 第28回みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市 オリジナル年賀状を送ろう！

JR磐田駅前ジュピロードに全国最大級の103台の軽トラが出店し「第28回みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市」が開催されました。会場には市内外から約1万人の来場者が訪れ、ステージイベントや食品・雑貨などの買い物を楽しみました。

本部ブースでは、年賀状の作成時期に合わせてオリジナル年賀状の作成コーナーが設けられ、来場者は色紙やスタンプなどを使って世界に一つだけのオリジナル年賀状を作りました。また12月3日～9日の障害者週間に合わせて、障害者福祉啓発ブース「ぬくまるマーケット」を開催し、特別支援学校や障害者施設の製品販売、ダンス披露などを行い、多くの買い物客でにぎわいました。

JR磐田駅北口広場の「駅北 音カフェ♪」では、市内の和洋菓子・飲食店が磐田西高校、磐田農業高校、磐田東高校の生徒たちの演奏やダンスとともに自慢の商品で会場を盛り上げました。



①



①今年の干支に合わせて、しっぺいのスタンプが人気

②ジュピロードは大勢の人でにぎわいました
③高校生によるステージイベントにも多くの人が見入っていました



③

12月8日 お正月を前に、餅つきに挑戦しよう 地域の方とぺったんぺったん



▲石臼と杵を使って「ぺったん、ぺったん」リズムよくつきました

東部幼稚園では、子どもたちに昔ながらの伝統行事を知ってもらおうと、御厨シニアクラブの12人を招き、餅つきに挑戦しました。

年長児は、シニアクラブの方と一緒に杵を握って餅をつき、年中児・年少児はその様子を興味深そうに見学しました。餅ができあがると、園児らは磯辺餅やきな粉餅、あんこ餅にして口いっぱい頬張っていました。

12月6日 みんなで干し柿作りに挑戦しよう おいしい干し柿できるかな



▲みんなで「おいしい干し柿になあれ」と大合唱

子どもたちに地域の特産物を知ってもらおうと、豊岡こども園で干し柿作りを行いました。地域にお住まいの鈴木学さん、柳沢好子さんの2人を講師に年長児30人が、干し柿に使われる「立石柿」約100個の皮をピーラーで丁寧にむき、渋みを抜いて変色を防ぐために熱湯に通していきました。

園児らは、軒下につるされていく柿を見上げ、「おいしくなあれ」と大合唱していました。





12月15日 冬の使者がやってきました コハクチョウ渡来

12月に鶴ヶ池（岩井）にコハクチョウがやってきました。昨年度より9日遅い訪れとなりましたが、平成6年に初めて渡来して以来、ほぼ毎年確認されています。



コハクチョウは、本州以北の湖沼や河川、内湾などに渡来する冬鳥で、クチバシや羽が特徴的です。例年鶴ヶ池周辺で冬を過ごし、1月～2月頃にかけて故郷の北国へ旅立ちます。

12月19日 磐城南高校書道部を激励 ふるさと磐田を「書」で表現

「第8回静岡県書道パフォーマンス合同発表会」に出場する磐城南高校書道部の皆さんの激励会が同校で開催されました。



この大会は、縦4m×横6mの用紙に各校のテーマに沿った書道をするもので、同校書道部は市内に伝わる霊犬伝説の主人公「しんぺい悉平太郎」をテーマにした書道を披露しました。大会は12月23日（祝）に静岡市で開催され、同校は3位の成績を収めました。

12月21日 そば打ちに挑戦しよう 年越しそばもできるかな



岩田小学校では、2年生24人が学校で野菜作りの先生をすすむ務める堀内範さんの指導で9月からそばの栽培に取り組んでいます。



この日、子どもたちは堀内さんや保護者、地域のボランティアらを講師に、自分たちで育てたそばを石臼で挽いたそば粉を使いそば打ちに挑戦しました。初めてそば打ちをした飯田圭志けいしさんは「そばを上手にこねるのが難しかったです」と話しました。

12月18日 ㈱杏林堂薬局と健康増進に向けて協力 健康づくりの相乗効果を期待

㈱杏林堂薬局と市は、市民の健康増進と食育推進、地域の活性化を図ることを目的として「健康増進に向けた連携と協力に関する協定」を締結しました。同様の協定は、同社として初めての取り組みです。



同社の青田英行社長は「地域の人のための健康づくりに貢献できるような活動をこれからも実行していきたい」と話しました。

12月18日 地元企業からぽっかぽかのプレゼント スープを飲んで笑顔いっぱい

市と包括協定を結んでいるポッカサッポロフード&ビバレッジ㈱の関連会社である磐田ポッカ食品㈱から、地元福田地区の幼稚園・こども園に通う子どもたちにスープがプレゼントされ、福田中幼稚園で贈呈式が行われました。



磐田ポッカ食品㈱の深見之保ゆきやす社長がスープを手渡すと、園児たちは「ぽっかぽかのスープを飲んで、笑顔いっぱい、仲良く遊びます」とお礼を言いました。

12月20日 市立総合病院クリスマスコンサート 病院から心を込めたプレゼント

市立総合病院では「入院患者様の療養生活に潤いと変化を提供したい」という願いから、毎年クリスマスコンサートを開催しています。



この日は、職員有志が出演して和太鼓やマジックが披露されました。また「アミーゴス・ド・ブラジル」の皆さんによる歌のプレゼントもあり、会場となった1階ホールは、大きな拍手に包まれました。